

入浴用椅子に注意

サビで転倒事故も（国民生活センター）

国民生活センターは9月15日、高齢者が浴室内で使う脚の高さを調整できる入浴用椅子で、転倒事故などが発生しているとして注意を呼び掛けた。

全国の消費生活センターなどに寄せられた入浴用椅子に関する相談は2011年度以降5年間で65件。そのうち6件が脚の高さ調整機構の不具合によるもので、「片方の脚が突然低くなりバランスを崩して転倒し、頭部に打撲傷を負った」などのケースがあった。

そこで同センターは、ホームセンターなどで販売されている10銘柄の入浴用椅子の耐久性などをテ

スト。その結果、脚に鉄製のバネを使用していた2銘柄でサビが発生するなどの問題があった。

同センターは「サビでネジが外れると危険」と消費者に対し、ネジの緩みや脚の高さ調整機構に破損がないか確認し、サビた場合は使用を止めるよう注意喚起した。

メーカーには、バネの材質を改良し、取扱説明書にサビの発生に関する注意表示や点検の励行などを記載するよう求めた。

（福祉新聞・第2781号 2016年10月10日）